

新技術紹介

IoT ホーム Link 「Life Assist」 (ライフアシスト)

株式会社 LIXIL コミュニケーションズ&CR部 酒井 亮介

1. はじめに

昨今、住宅におけるIoTの活用が進み、さまざまな検証や実用化がされています。住まいの水まわり製品と建材製品を開発・提供する株式会社LIXIL(本社:東京都千代田区、社長:瀬戸欣哉)は、家電やデジタル機器、玄関ドアや窓シャッターなどの建材までIoT技術でトータルにつながる住まいのリンクシステムについて、IoTホームLink「Life Assist」(ライフアシスト)として商品化し、2018年4月2日より全国で発売しています。

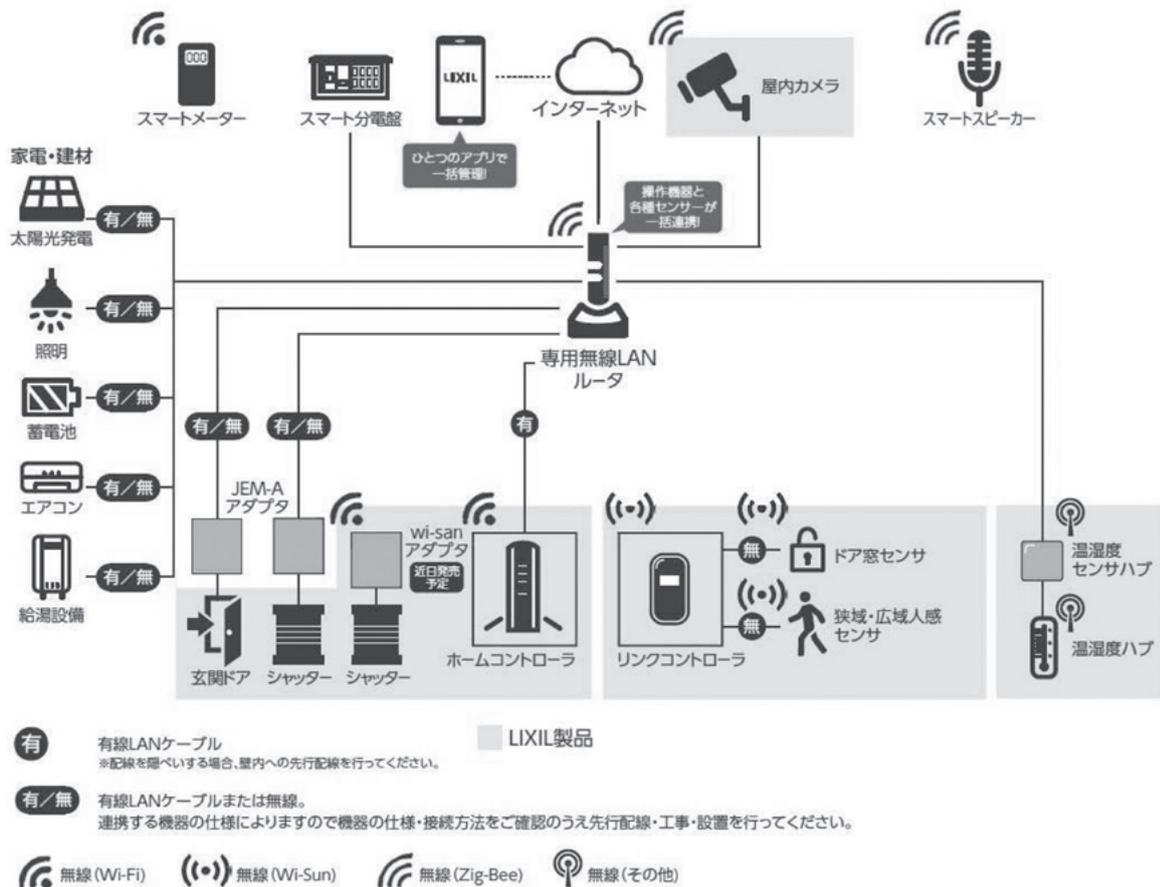
2. 商品構成と仕様

本システムは、家庭の電気機器をつなぐことで、エネルギーの使用状況の見える化や家電機器の遠隔

操作を可能にする「ホームコントローラ」と、住宅に設置したセンサやカメラによって見守り・防犯を可能にする「リンクコントローラ」、そして両者をLIXIL独自の技術で一括連携させる「ルータ」によって構成され、これらをインターネットを介して連携することで1つのアプリで一括管理・操作します。

これにより、スマートスピーカーやスマートフォンアプリによる一括管理・コントロールが可能となり、これまでにない快適な住生活の可能性を広げます。

また、Wi-Fi通信には、スマートハウスを実現するための通信規格で遠隔操作機能を有する多くの電気機器で採用されているEchonet Lite規格を使用しており、LIXIL製品以外にも、連携しています。



専用無線LANルータ



- ホームコントローラとリンクコントローラを繋ぎ合わせ、複合的な動作を可能にします。

ホームコントローラ



- 電気・ガス・水道のエネルギーを見える化し日々の節約に役立てることが出来ます。
- 専用アプリで家電から、さらには建材までの遠隔操作が可能です。

リンクコントローラ



- 屋内カメラ、ドア窓センサ、人感センサ、温湿度センサをリンクさせ、クラウド管理を実現します。
- 各センサや屋内カメラ・スマートスピーカー等をホームコントローラに繋げる役割を担います。音声操作やアシストルールで建材・家電の一括操作を可能にします。
- LINEアプリで簡易操作ができます。

屋内カメラ



- 動画や写真を撮影し、入退の記録や確認が可能になります。
- 人感センサ機能も付いていますので、センサ検知後の撮影と保存も可能です。(アシストルールでの撮影では、トリガの2~3秒前から動画・静止画撮影が可能です)
- 暗所や低照度時は赤外線カメラに自動で切り換わります。

ドア窓センサ



- ドアや窓に設置することで、開閉状況をアプリで確認したり、状況を通知でお知らせできます。
- 確認や見守りに効果を発揮します。

広域・狭域人感センサ



- 人の動きを検知して、アプリやメールに通知が届きます。
- 屋内カメラと組合せることで、人の動きを検知後に動画や写真を撮影し、アプリやメールに動画や画像付きの通知を送ることも可能です。

温湿度センサ



- 部屋の温度・湿度・照度が確認できます。過去のデータを確認することも可能です。
- 温度や湿度の情報を利用して自動でエアコンなどを稼働させることができます。

3. 商品特長

A. アシストルールで自動操作。センサで安心安全

アシストルール機能とは、センサ感知やスマートスピーカー等のきっかけ (Trigger: トリガ) によって、建材や設備機器等を動作 (Action: アクション) さ

ることができる機能です。1つのきっかけで同時に複数動作させることができます。また、生活シーン (mode: モード) 別に設定することができます。曜日指定はもちろんのこと時間 (開始時刻~終了時刻) 指定をすることも可能です。ご使用される方ご自身がアプリで自由に組合せてルールを設定することができます。



B. LIXIL 建材と家電をアプリで操作

アプリを使うと LIXIL の建材や家電の状態確認や遠隔操作ができます。例えば玄関の鍵を閉め忘れたか不



C. スマートスピーカーや LINE アプリからも操作可能

様々なウェブサービスやアプリ同士を連結できるプラットフォーム「IFTTT」を通じてスマートスピーカーと建材・設備機器を音声でコントロールすること



安になった時、スマートフォンアプリから確認・施錠ができ、また、寒い日の帰宅前にお部屋のエアコンを操作したり、お風呂を沸かしたりすることも可能です。

ができます。スマートスピーカーに一言話しかけるだけで、アシストルールが作動し一括操作が可能になります。

※スマートスピーカーで「Life Assist」を操作するには、IFTTT とスマートスピーカーの初期設定が必要です。
※Google、Google Home は、Google LLC の商標です。

D. HEMS (エネルギー管理)

目に見えなかった家のエネルギーが、ライフアシストを使えば手に取るようになります。

お部屋ごと、電気機器ごとの使用状況も確認でき、設定値を超えるとメールで通知してくれる機能もあるため、効率よく節約できます。クラウド管理なので、スマートフォンやパソコンでアクセスでき、どこからでも自宅の状態をキャッチすることが可能です。

4. 今後の展開

LIXIL が考える「これからの住まい」は、“省エネで健康・快適な住まい（住宅性能の向上）”と“より便利で安心な暮らし（生活価値の向上）”の両面から、豊かで快適な住生活をサポートする住まいです。

将来的には、本システムを中心に、住設機器やスマートエクステリア・サッシなどの LIXIL 製品との連携

を拡大していくほかに、さまざまな企業の先進デバイスとの連携強化を図って参ります。そうすることで、より便利で安心な複合的な機能を実現し、様々な生活シーンでのお困りゴトが解決できます。

さらに最終的には地域コミュニティやサービスとの連携も視野に入れ“これからの快適な住生活”の実現を目指した開発を進めてまいります。

